スタンダードレベル英語＜長文編＞

英語ができるようになる最大のコツは何か。本講座は，その問いに真っ直ぐ答える講座です。

現在の大学入試の英語では，英語長文が圧倒的に高い配点を占めます。英語長文が得意になるには，単語・熟語・文法・構文把握・論理展開の理解・背景知識・解法と，いくつもの周辺知識が必要となります。

しかし，その周辺知識を個別にいくら学んでも，英語長文を読めるようにはなりません。まずは単語から，文法からとやっていると，あっという間に本番を迎えてしまいます。

英語長文を読むことでしか，英語長文は得意にはなりません。そして，英語長文の中には，上述の単語・熟語・文法・構文把握・論理展開の理解・背景知識・解法と全てが詰まっています。本テキストの英語長文を全て自分のものにすれば，面白いほど英語長文が読めるようになることをお約束します。**授業後の音読 10 回**はお忘れなく。

肘井　学

第０講　授業の受け方と英語の勉強法

一，予習について

＊授業で扱う文は，解法や読み方を学ぶためだけのものではなくて，そこに出てきた単語・熟語・構文全てを学び取るもの。その文章で出てきた単語・熟語・構文は，必ず次の文にも出てくるものです !!

① 問題を解く（**1 講につき 30 分～ 1 時間**）
② 全文構文を把握しながら，意味を取っていく
③ 分からない単語の意味を辞書で調べて，テキストに書き込む。授業は単語の意味あわせではないので，このことだけはしっかり予習段階でやってくるようにお願いします。辞書を自分の手で引けば引くほど，単語の意味が定着しやすくなります。
④ 前置詞の作るかたまりを特定する
⑤ 接続詞のつないでいるものを特定する（and, but, or）
⑥ 代名詞・指示語が何を指すか特定する（it, they, them, this）
⑦ 関係詞節の範囲を特定する
⑧ 不定詞の三用法を特定してくる
⑨ 分詞の名詞修飾を特定する

④～⑨は，授業内で毎回指摘するので，予習時にやっておいて，授業は自分の精度の確認にしてください。

二，講義について

① 授業中は，訳を書き写すことに専念することはおやめください。全訳は解答に全てありますので，授業後に照らし合わせて確認してください。授業中は，徹底して理解することに努めていただいて，訳の方法を暗記するのではなくて，訳の方法を理解することが未知の英文にも役立ちます。

② 授業中眠くなる時があるのは，私もいたいほどわかります。ただし，こらえること。

三，復習について

毎年毎年，奇跡的な合格を果たしている生徒達に伝授している秘伝です。何万人も生徒を教えてきて，これ以上に，成績を上げる方法は，いまだ思いつきません。といっても，急に奇跡が起こるようなそんなおいしい話なんてなくて，僕が練りに練り上げたその方法は，毎日毎日，ひたすら地道な作業を繰り返していくだけです。**一つの文章に対する密度を上げる**，それが遠回りに見えて，最も合格に近い道であることは，今までの僕の生徒達が証明してくれています。

復習その一，本文全体の構文把握

授業中に入れたスラッシュや括弧を利用して，全訳と照らし合わせて，SV はどれか，どこからどこまで一つの意味の固まりで，どこがどこを修飾しているか確認して，意味を取っていく。

復習その二，知らない単語を，全て覚える

解答の各講の最後にある重要語彙リストを利用して，

① 日本語とセットで，英語／日本語の順に，三回書いて覚える

② 日本語とセットで，英語／日本語の順に，十回唱えて覚える

⇒ 二, 三回繰り返しただけで覚えられない，暗記が苦手と嘆かないこと！　暗記に必要なのは，繰り返すこと，英語のできる子達は，人より多く繰り返しているだけです !!

復習その三，文章を 10回(長い文章は5回)音読する

音読の具体的な方法論と効果を説明します。

① 解答の各講の最後にある音読用英文で，一回読むごとに右上の数字に一つ斜線を入れていく。

② 次に，自分なりの発音でよいから，一文目を発声する（自習室では，自分だけに聞こえる程度の声で)。

（参考）He could not explain the reason for his instinctive avoidance of them.
（ヒークゥドノットイクスプレインザリーズン・フォーヒズインスティンクティヴアヴォイダンスオブゼム）

③ 次に，構文を追いながら，意味を頭で考える。
彼は，彼が本能で彼等を避ける理由を説明できなかった。

④ この手順で，最後まで読む。数字の 1 に斜線を入れて，十回繰り返す。

効果としては，まず**単語を生きた状態で学べる**。単語一つを覚えるのも重要ですが，それだけだと死んだ単語。文章中で出てきても，意味が思い出せない，何だか意味が取れないと思ったことありますよね。

次に，**正確な構文力が付く**。構文の処理を十回も繰り返せば嫌でも得意になります。

最後に，実はこの方法論こそが，皆さんが求める速読への最大の近道なんです !!
一回目に読んだときの大変さ，遅さ，それは単語の記憶があいまいなせいで，構文を取るのが遅くて不正確なせいで，読むのが遅いんです !!

十回目に読んだ時のスピードと比較してみてください。十回目はなんと，早く読めることでしょうか。それは，単語の意味が正確に出てきて，構文をすばやく取れる，それが速読の真の正体なんです !!　英語を英語のまま理解できるという状態に達するのは，音読で徹底して繰り返した時に起きる現象なんです。

単語個の力と，文章の中で覚えた生きた単語力，その相乗効果こそが，最高に英語が得意になる秘訣なんです !!

あとは，これを一日一文，一週間で 5 文やってみてください。早い人で三ヶ月で見違えるような効果が生まれてきます。僕の英語の授業を完成させるかどうかは，みなさんの復習次第です。

四，復習テストについて

この授業の趣旨を理解していただいたみなさんは，いかに復習が大切で，復習こそが英語力を高める最大の近道だと気付いていただいたはずです。**授業を終えた後こそ一番大事**，椅子に座って話を聞いて満足するだけじゃなく，その後に自ら能動的に動くこと＝復習することが一番大切なんです。

そのために，**復習テスト**を必ず突破してから，次の講に進むようにお願いします。授業で指摘したポイントの確認，解答の最後にある重要語彙リストからの出題で，しっかり音読と語彙の定着がなされているかをチェックしていきます。いずれも，前回やった内容からの出題なので，満点で先に進んでください。

全ては，第一志望校に受かるため，英語力をつけるための最短の道と理解して，必死で臨んでください。

第１講　頻出英語長文演習①

ポイント

【1】抽象の発見
【2】help の語法
【3】具体例の発見

次の英文を読んで，下記の設問に答えよ。

Good manners and etiquette are not complicated. Anyone can demonstrate courtesy and consideration for others without knowing the specific rules of etiquette.

And no one is born knowing those rules. They are learned gradually — at home, in school, at work, and in everyday contacts (　a　) both friends and strangers. To expand their knowledge of good conduct, many people continue to read etiquette books as adults.

There are a number of reasons why people want to learn good manners and the rules of etiquette. Good manners help win friends. Naturally, people who treat other people with kindness and sympathy are most likely to become popular because they are considered good companions.

(1) Good manners also help please members of the family, special friends, teachers, employers, and strangers like salespeople and law officers. Good manners help put people (　b　) ease, make them cooperative and just plain happy.

People who practice good manners and understand the rules of etiquette also make themselves happy. Knowing how to behave properly, in familiar as

well as in strange situations, builds self-confidence. Meeting new people and visiting new places become (2) <u>pleasurable instead of frightening experiences</u>.

● help の語法

① help O（to）do「O が～するのを助ける」 ・The map **helped us（to）walk** in the forest. 「その地図のおかげで，私たちは森の中を歩くことができた。」 ② help（to）do「～するのに役立つ」 ・Taking a warm bath **helps（to）relax** us. 「温かい風呂に入ると，リラックスできる。」

Input sheet　＊予習の段階では，何も書き込まないように。

① complicated の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
② demonstrate の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
③ courtesy の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
④ consideration の意味は？（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑤ specific の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑥ gradually の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑦ contact の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑧ stranger の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑨ conduct の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑩ sympathy の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Good manners begin at home. Even the youngest children quickly learn to say "please" and "thank you" when their parents, brothers, and sisters are courteous toward each other. Respect for family members can be demonstrated in many ways. Being on time (　c　) meals, showing responsibility in handling an *allowance, and taking care of belongings are all part of manners at home. So are respecting privacy, sharing household chores, and taking turns using the telephone, television set, or family car.

Good manners are equally important at school. Paying attention in class and handing (　d　) neatly prepared homework are ways to show respect for teachers. Classmates can show mutual consideration by respecting each other's property, by not "showing off" superior knowledge or possessions, and by making new students feel welcome.

On the job, good manners mean arriving on time, being reliable, and caring about neatness in both work and *personal grooming. Thoughtfulness toward other employees helps improve the working atmosphere. Employers appreciate willingness to work and accept criticism and an ability to keep confidences.

NOTE

Input sheet　＊予習の段階では，何も書き込まないように。

① learn to do の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
② respect の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
③ on time の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
④ responsibility の意味は？（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑤ belongings の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑥ take turns ～ ing の意味は？（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑦ equally の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑧ mutual の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑨ property の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑩ reliable の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Any number of situations in social life call for a knowledge of etiquette. (　e　), knowing how to make proper introductions helps avoid confusion and embarrassment at parties. Knowing how to order from a menu and (　f　) and how much to tip, can help make a date go smoothly. Today, when foreign travel is so popular, the person who learns in advance the customs of a country he intends to visit will increase his enjoyment of the trip as well as leave a good impression in the host country.

（注）allowance：こづかい　　　　personal grooming：身だしなみ

［“etiquette.” in Britannica Online for Kids. Adapted with permission from Britannica Online for Kids, © 2010 by Encyclopædia Britannica, Inc.］

問１　空欄(a)〜(f)に入れるのに最も適切なものを次の中から一つずつ選びなさい。

(a) ① in　② of　③ at　④ with

(b) ① on　② at　③ in　④ of

(c) ① over　② of　③ for　④ by

(d) ① on　② up　③ at　④ in

(e) ① By the way　② In addition　③ In conclusion　④ For instance

(f) ① what　② whom　③ that　④ which

問２　下線部(1)の意味として最も適切なものを次の中から一つ選びなさい。

① また，礼儀作法によって家族の者が救われますように。

② また，礼儀作法によって家族が楽しい気分になるのだ。

③ また，礼儀作法によって楽しい家族がより楽しくなりますように。

④ また，礼儀作法によって家族がゆずる気持ちを持つようにしなさい。

問３　下線部(2)の意味として最も適切なものを次の中から一つ選びなさい。

① 楽しいのではなく怖い経験　② 怖いのではなく楽しい経験

③ 楽しいけれど怖い経験　④ 怖いけれど楽しい経験

問４　本文の内容と一致しないものを次の中から二つ選びなさい。ただし，三つ以上選択した場合はすべて無効とする。

① 特別な礼儀作法の知識がなくとも, 思いやりの気持ちを態度で示すことはできる。

② 礼儀作法は身近な環境で少しずつ学んでゆくものであるが，それができない場合は本から学ぶのがよい。

③ 礼儀作法の根底には相手を尊重する気持ちがある。

④ 行儀よく振る舞えば相手ばかりでなく，自分も気持ちよくなるものである。

⑤ 礼儀作法の学び始めは家庭内であり, それには, “please” や “thank you” を使う, 自分の持ち物の管理をする，電話を使う順番で争わないなどが挙げられる。

⑥ 職場で礼儀正しくすれば，雇用者はその人のやる気を認め，非難を控え，自信を持ってその人の能力を評価するだろう。

復習テスト　第一回

＊次の見出し語（句・文）の意味に合う選択肢を選びなさい。

1. complicated

① 人気のある　② 幅広い　③ 複雑な　④ 単純な

2. courtesy

① 大きさ　② 奇妙さ　③ 単調さ　④ 礼儀正しさ

3. demonstrate

① 含む　② 示す　③ 話し合う　④ 壊す

4. gradually

① 常に　② 急に　③ 後に　④ 徐々に

5. a number of

① たくさんの　② 様々な　③ いつもの　④ ～の数

6. expand

① 改善する　② 後退する　③ 広げる　④ 縮小する

7. sympathy

① 反感　② 友情　③ 憤慨　④ 同情

8. cooperative

① 発展的な　② すたれた　③ 協力的な　④ 行動的な

9. respect

① 尊敬　② 発展　③ 変化　④ 進歩

10. appreciate

① 後悔する　② 遠慮する　③ 報告する　④ 評価する

第２講　頻出英語長文演習②

ポイント

【1】具体例の発見
【2】対比の発見
【3】疑似分裂文

次の英文を読んで，下記の設問に答えよ。

Sometimes a creative problem is so difficult that it requires people to connect their imaginations together. In other words, the solution arrives only if we work in groups. This is because a groups is not just a collection of individual talents. (a) <u>Instead</u> it is a chance for those talents to produce something greater than a single individual could create on his own.

Nowadays, there's evidence that group creativity is becoming more necessary. Ben Jones, a professor of management, has (b) <u>demonstrated</u> this by analyzing successful innovation in science. The trend he's observed is (C) <u>a sharp shift toward collaborative teamwork</u>. According to Jones, more than 99 scientific fields have experienced increased levels of teamwork.

While the most important discoveries in a scientific field used to be the product of individual geniuses such as Einstein or Darwin, the best research now emerges from groups of scientists. The reason is simple: the biggest problems we now need to solve require the talents of people from different backgrounds who (d) <u>bridge the gap between their areas of knowledge</u>. Unless we learn how to share our ideas with others, we will be (e) <u>stuck with a world of seemingly impossible problems</u>.

NOTE

Input sheet　**＊予習の段階では，何も書き込まないように。**

① require の意味と後ろの型は？（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
② in other words の意味と何を作り出す？（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
③ solution の意味は？　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
④ individual の意味は？　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑤ evidence の意味は？　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑥ innovation の意味は？　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑦ trend の意味は？　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑧ collaborative の意味は？　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑨ genius の意味は？　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
⑩ background の意味は？　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

But how should we work together? What's the ideal (f) strategy for group creativity? Brian Uzzi, a sociologist, has spent many years trying to answer this question by studying the creative teams that make Broadway musicals. "Nobody creates a musical alone," he said. "The production requires too many different types of talents." Uzzi wanted to understand how the team members' relationships affected the success or failure of a musical. He looked at groups of songwriters, producers, screenplay writers, dance choreographers* and directors who worked together creatively. He wondered if it is better to have a group (g) composed of close friends who have worked together before, or total strangers working together for the first time.

The first thing Uzzi discovered is that most of the people who worked on Broadway were part of an extremely interconnected social network. Members on a new production team either knew one another very well, had met before or had seen one another's previous projects. Uzzi also found that the best Broadway shows were produced when there was a range of levels of closeness among members. When all the members in the group had close relationships, the results were not very good. If nobody knew anyone else very well, the play was usually not very successful. The most successful Broadway musicals were created by teams where some people had worked together before but others were newcomers. In the ideal creative situation, people will become more comfortable with one another, but they should not be too comfortable, at first. Somehow this mix of personal relationships seemed to be ideal.

NOTE

Input sheet　＊予習の段階では，何も書き込まないように。

① strategy の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
② spend の意味と後ろの型は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
③ relationship の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
④ affect の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
⑤ wonder if の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
⑥ be composed of の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
⑦ total stranger の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
⑧ a range of の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
⑨ closeness の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)
⑩ comfortable の意味は？　(　　　　　　　　　　　　　　　　)

Understanding what kinds of teams are most effective is very important. Today we live in a world of very complex and difficult problems. Most of the (h) important challenges humans face exceed the capabilities of the individual imagination. As a result, we can find creative solutions only by working together with other talented people. (i) What researchers like Jones and Uzzi have found is that when talented people come together and cooperate in the right way, it can seem like magic. But it's not magic; it is the natural result of successful teamwork.

*choreographers：振付師

「弊社では著作権者を探し出す努力をしましたが，特定するに至りませんでした。該当文を見られた著作権者はご一報ください。」

● 疑似分裂文

・What is ～ is that ....　「～なのは…だ。」

・That the paper used the right term is surprising.
↓「その論文が正しい用語を使っていたのは驚きだ。」
・**What is** surprising **is that** the paper used the right term.

問Ａ　本文の内容に合致するものを, 下の１～12から四つ選んで, その番号を記入せよ。

1. When a problem is difficult, a single individual is most likely to solve it.
2. According to the passage, in science, there was less collaboration in the past than there is now.
3. Einstein and Darwin are examples of individuals who worked with groups of geniuses.
4. Uzzi recently became interested in understanding how directors make successful musicals.
5. Musicals require the collaboration of creative people with many different talents.
6. Uzzi is a sociologist who produced Broadway musicals.
7. The success of Broadway plays is unrelated to the familiarity among group members.
8. When nobody in the production team knew anyone else, the play was very successful.
9. Some of the creative groups Uzzi studied included people who had never worked together.
10. Uzzi found that a mix of personal relationships was far from ideal.
11. Today’s problems can best be solved by talented people coming together to find a solution.
12. The research of Jones and Uzzi seems like magic because it was the result of their working together.

問Ｂ　下線部(c・d・e・h)の意味・内容に最も近いものを，それぞれ下の(1 ～ 4)から一つ選んで，その番号を記入せよ。

(c) a sharp shift toward collaborative teamwork

1. a sudden change toward group cooperation
2. a quick approach to job sharing
3. a smart switch toward group uniformity
4. a strong desire for clear relationships

(d) bridge the gap between their areas of knowledge

1. reduce the distance between theory and practice
2. improve the transportation among different nations
3. create a connection between different fields of study
4. attract various talents who come from different cultures

(e) stuck with a world of seemingly impossible problems

1. placed in a situation where problems do not appear
2. surprised by the apparent confusion of the world
3. trapped in a condition where we take the blame for the world’s troubles
4. caught in a situation where difficulties appear to be hard to solve

（h）important challenges humans face

1. amazing variety in people’s expression

2. significant problems people must deal with

3. notable difficulties of accepting others

4. essential changes the members must meet

問Ｃ　下線部(a・b・f・g)の意味・内容に最も近いものを，それぞれ(1 ～ 4)から一つ選んで，その番号を記入せよ。

（a）Instead

1. Moreover　　2. Though　　3. Instantly　　4. Rather

（b）demonstrated

1. entertained　　2. proved　　3 .appeared　　4. performed

（f）strategy

1. method　　2. motivation　　3. location　　4. reason

（g）composed of

1. imposing on　　2. breaking up with　　3. made up of　　4. gathered in

問Ｄ　下線部(ｉ)を日本語に訳しなさい。

復習テスト　第二回

＊次の見出し語（句・文）の意味に合う選択肢を選びなさい。

1. solution
① 問題　② 質問　③ 解決策　④ 教授

2. evidence
① 出現　② 意見　③ 変更　④ 証拠

3. analyze
① 分析する　② 引き返す　③ 前進する　④ 説明する

4. trend
① 知性　② 傾向　③ 大陸　④ 天気

5. emerge
① 消える　② 走る　③ 回転する　④ 出現する

6. discovery
① 行進　② 大海　③ 発見　④ 航海

7. unless
① ～しない限り　② ～するとすぐに
③ ～したあとに　④ ～する間に

8. strategy
① 回避　② 時間　③ 空間　④ 戦略

9. challenge
① 延長　② 拡大　③ 課題　④ 遠慮

10. comfortable
① 快適な　② きれいな　③ はっきりした　④ 不快な

NOTE

第３講　頻出英語長文演習③

ポイント

【1】因果構文
【2】追加の発見
【3】一般論⇒逆接⇒筆者の主張

次の英文を読んで，下記の設問に答えよ。

The phrase “music to my ears” is one that is used in English to express happiness about hearing something pleasant or desirable. For example, a student might say, “That is music to my ears.” when told by a teacher that he had passed a test. The famous German philosopher, Friedrich Nietzsche, once said, “Without music, life would be a mistake.” Whether music is that important to us all is [1], but we do know that music has a strong impact on the way we think and feel.

One study, for example, showed that the music people listen to can have an impact on [2] they perceive a neutral facial expression. People who listened to even a short piece of music that had a happy tone identified a neutral facial expression as happy, while those who listened to music that had a dark or depressing tone identified the same expression as sad. The interesting thing is that just because we recognize some music as being happy and other as sad, listening to it doesn’t necessarily make us feel happy or sad. This is because music affects two different types of emotions: perceived emotions and felt, or experienced, emotions. So, we can understand the emotion associated with a piece of music without actually

feeling the emotion. This may be one reason why some people enjoy music that is often described as lonely or sad.

NOTE

Input sheet　＊予習の段階では，何も書き込まないように。

① desirable の意味は？　（　　　　　　）
② mistake の意味は？　（　　　　　　）
③ perceive の意味は？　（　　　　　　）
④ neutral の意味は？　（　　　　　　）
⑤ identify の後ろの型と意味は？（　　　　　　）
⑥ depress の意味は？　（　　　　　　）
⑦ not necessarily の意味は？（　　　　　　）
⑧ associate の後ろの型と意味は？（　　　　　　）
⑨ describe の意味は？　（　　　　　　）
⑩ lonely の意味は？　（　　　　　　）

Another interesting study has demonstrated that a moderate level of ambient, or background, noise can actually be better for creativity than no noise. The theory is that moderate levels of background noise make it slightly more difficult to process information. This increased difficulty (3) <u>promotes</u> abstract thought, which in turn results in higher levels of creativity. Of course, if the noise levels are too high the result is [4] as the individual is unable to concentrate and creativity and productivity decline rapidly.

One group of researchers claim that music can be very distracting while driving. In their study, participants drove while listening to music selected by the researchers, their own music, or with no music at all. Surprisingly, the drivers were the most distracted and made the most mistakes when they listened to their own music. Even more surprisingly, the drivers were safer and made the fewest mistakes when they listened to music selected by the researchers. This music was described as being unfamiliar. Apparently, this type of unfamiliar background music was even better than no music at all because it prevented the drivers from being distracted by their own thoughts while, at the same time, not distracting them from their driving.

NOTE

Input sheet　＊予習の段階では，何も書き込まないように。

① demonstrate の意味は？（　　　　　　　　　　　　　　　）
② moderate の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）
③ process の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）
④ promote の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）
⑤ abstract の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）
⑥ in turn の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）
⑦ result in の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）
⑧ concentrate の意味は？（　　　　　　　　　　　　　　　）
⑨ decline の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）
⑩ distract の意味は？　（　　　　　　　　　　　　　　　）

Another fairly common understanding about music is that training to learn how to play a musical instrument can have a positive effect on both motor skills, or coordination, and reasoning skills. Individuals who learned how to play an instrument at an early age tend to score higher on vocabulary tests and demonstrate advanced visual analysis and reasoning skills.

Most people would likely debate with Nietzsche’s statement about the importance of music but there is little doubt that music plays a major role in everyday life for many of us. Understanding how music affects our thoughts and feelings might help us to use its power to improve our lives.

問１　空所 [1] に入れるべき最も適切な語を①～④の中から一つ選びなさい。

① agreeable　② debatable　③ enjoyable　④ fashionable

問２　空所 [2] に入れるべき最も適切な語を①～④の中から一つ選びなさい。

① how　② what　③ who　④ whom

問３　第２段落（One study, for ... lonely or sad.）の内容と一致するものを①～④の中から一つ選びなさい。

① People who enjoy listening to sad music are sad.

② When people listen to happy music their facial expressions are happy.

③ We can understand that music is happy or sad but not feel the same way.

④ Music with a dark or depressing tone always causes people to think sad thoughts.

問４　下線部（3）promotes の言い換えとして最も適切な語を①～④の中から一つ選びなさい。

① advertises　② behaves　③ encourages　④ functions

問５　空所 [4] に入れるべき最も適切な語を①～④の中から一つ選びなさい。

① negative　② neutral　③ positive　④ unknown

問６　第４段落（One group of ... from their driving.）の内容と一致するものを①～④の中から一つ選びなさい。

① Researchers say drivers are surprisingly more distracted when listening to music.

② Researchers say people drive more dangerously when listening to music they don’t like.

③ Researchers say drivers’ thoughts become deeper when they listen to background noise.

④ Researchers say drivers are safer when they listen to music they don’t know.

問７　第５段落（Another fairly common ... and reasoning skills.）の内容と一致するように次の文を完成させるとき，空所 [　　] に入れるべき最も適切なものを①～④の中から一つ選びなさい。

Because she has been playing the piano since she was three years old, Christina [　　].

① demonstrated her ability by analyzing a difficult song

② has difficulty solving common problems

③ has a wide vocabulary and is a very logical thinker

④ wants to be a concert pianist

問８　本文の内容と一致するものを①～④の中から一つ選びなさい。

① Background noise that is not too loud can increase creativity.

② Friedrich Nietzsche was a professional musician.

③ People who speak English are happy to hear music.

④ Individuals who listen to their own music while driving are coordinated.

復習テスト　第三回

＊次の見出し語（句・文）の意味に合う選択肢を選びなさい。

1. desirable
① 国内の　② 望ましい　③ 広範囲な　④ 遠く離れた

2. philosopher
① 物理学者　② 科学者　③ 数学者　④ 哲学者

3. perceive
① 認識する　② 航海する　③ 感動する　④ 心配する

4. associate
① 延期する　② 中止する　③ 開始する　④ 関連づける

5. identify
① 経験する　② 探検する　③ 実験する　④ 同一視する

6. describe
① 理解する　② 描写する　③ 信じる　④ 発見する

7. moderate
① 適度な　② 伝統的な　③ 奇妙な　④ 新しい

8. distract
① 集中する　② 偏る　③ 戦う　④ そらす

9. prevent
① 行動する　② 妨げる　③ 可能にする　④ 促す

10. instrument
① 楽器　② 快適さ　③ 延長　④ 反感

第１講　解答

＜解答＞

問１　(a) ④　(b) ②　(c) ③　(d) ④　(e) ④　(f) ②

問２　②

問３　②

問４　②，⑥

＜全訳＞

礼儀作法やエチケットは複雑ではない。誰でもエチケットの具体的なルールを知らなくても，他人に礼儀や配慮を示すことができる。

そして，誰もそのルールを知って生まれてくる人はいない。それらは，家庭，学校，職場，毎日，友人と赤の他人の両方と接することで徐々に身に付けるものだ。善行の知識を広げるために，多くの人が大人としてエチケットの本を読み続ける。

人々が礼儀作法やエチケットのルールを学びたいと思うたくさんの理由がある。礼儀作法を知っておくと，友人をつくる手助けとなる。当然のことながら，他人に親切心や同情でもてなす人々は，良い仲間と思われるから，人気になる可能性がとても高い。

礼儀作法を知っておくと，家族，特別な友人，教師，雇用者，さらには営業マンや法務官のような他人を喜ばすことに役立つこともある。礼儀作法を知っておくと，人々はリラックスできて，協力的になり，とても幸せになるのに役立つ。

礼儀作法を実践して，エチケットのルールを理解する人々は，自分自身をも幸せにする。慣れ親しんだ状況でもなじみのない状況でも，適切に行動する方法を知ることで，自信が身に付く。新しい人に出会い，新しい場所を訪れることは，怖いのではなく楽しい経験となる。

礼儀作法は家庭から始まる。親や兄弟姉妹がお互いに礼儀正しくあれば，最も幼い子供たちでさえすぐに「どうぞ」や「ありがとう」と言えるようになる。家族への敬意は，多くの方法で示すことができる。食事の時間に間に合うこと，おこづかいの使い道に責任感を示すこと，そして持ち物を管理することは，全て家庭での作法の一部だ。プライバシーを尊重すること，家事を分担すること，交代で電話，テレビ，自家用車を使うことも作法の一部だ。

礼儀作法は学校でも同様に重要だ。授業に集中して，きちんと準備した宿題を提出

することは，教師に敬意を示す方法となる。クラスメイトは，お互いの特性に敬意を示して，優れた知識や持ち物を「見せびらかさ」ないこと，そして新入生を歓迎することで，お互いの配慮を示すことができる。

仕事における礼儀作法とは，時間通りに出勤すること，信頼できること，仕事と身だしなみの両方で整頓に気を使えることである。他の従業員への思いやりによって，職場の雰囲気は改善される。雇用者は，進んで働き批判を受け入れる姿勢や，信頼を損なわない能力を評価する。

社会生活でのどんな状況でも，エチケットの知識が必要とされる。例えば，きちんとした紹介をする方法を知っていることで，パーティーで混乱や当惑を避けることができる。

メニューを見て注文する方法や誰にいくらチップを払うべきかを知っていることで，デートがスムーズに進む手助けとなることがある。今日，海外旅行はとても人気だが，訪問するつもりの国の慣習を前もって学んでいる人は，旅の楽しみを増やし，訪問先の国で良い印象を残すことになるだろう。

第１講　重要語彙リスト　　＊一つ一つ何度も繰り返して，覚えてください

1	complicated	複雑な
2	demonstrate	示す
3	courtesy	礼儀正しさ
4	consideration	配慮
5	specific	具体的な
6	gradually	徐々に
7	stranger	他人，見知らぬ人
8	expand	広げる
9	knowledge	知識
10	conduct	行い
11	continue to do	～し続ける
12	a number of	たくさんの
13	treat	もてなす
14	sympathy	同情
15	companion	仲間
16	put O at ease	O を気楽にさせる
17	cooperative	協力的な
18	practice	練習する，実践する
19	behave	振る舞う
20	properly	きちんと，適切に
21	self-confidence	自信
22	instead of	～の代わりに
23	frightening	恐ろしい
24	respect	尊敬，敬意
25	on time	時間通りに
26	responsibility	責任
27	handle	扱う
28	take care of	管理をする
29	belongings	持ち物
30	chore	きまりきった仕事，日課
31	take turns ～ ing	交代で～する
32	mutual	相互の
33	property	財産，特性
34	superior	優れた
35	reliable	信頼できる
36	atmosphere	雰囲気
37	appreciate	評価する
38	willingness to do	進んで～すること
39	criticism	批判
40	call for	要求する

第1講　音読用白文　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩

Good manners and etiquette are not complicated. Anyone can demonstrate courtesy and consideration for others without knowing the specific rules of etiquette.

And no one is born knowing those rules. They are learned gradually — at home, in school, at work, and in everyday contacts with both friends and strangers. To expand their knowledge of good conduct, many people continue to read etiquette books as adults.

There are a number of reasons why people want to learn good manners and the rules of etiquette. Good manners help win friends. Naturally, people who treat other people with kindness and sympathy are most likely to become popular because they are considered good companions.

Good manners also help please members of the family, special friends, teachers, employers, and strangers like salespeople and law officers. Good manners help put people at ease, make them cooperative and just plain happy.

People who practice good manners and understand the rules of etiquette also make themselves happy. Knowing how to behave properly, in familiar as well as in strange situations, builds self-confidence. Meeting new people and visiting new places become pleasurable instead of frightening experiences.

Good manners begin at home. Even the youngest children quickly learn to say “please” and “thank you” when their parents, brothers, and sisters are courteous toward each other. Respect for family members can be demonstrated in many ways. Being on time for meals, showing responsibility in handling an allowance, and taking care of belongings are all part of manners at home. So are respecting privacy, sharing household chores, and taking turns using the telephone, television set, or family car.

Good manners are equally important at school. Paying attention in class and handing in neatly prepared homework are ways to show respect for teachers. Classmates can show mutual consideration by respecting each other’s property, by not “showing off” superior knowledge or possessions, and by making new students feel welcome.

On the job, good manners mean arriving on time, being reliable, and caring about neatness in both work and personal grooming. Thoughtfulness toward other employees helps improve the working atmosphere. Employers appreciate willingness to work and accept criticism and an ability to keep confidences.

Any number of situations in social life call for a knowledge of etiquette. For instance, knowing how to make proper introductions helps avoid confusion and embarrassment at parties. Knowing how to order from a menu and whom and how much to tip, can help make a date go smoothly. Today, when foreign travel is so popular, the person who learns in advance the customs of a country he intends to visit will increase his enjoyment of the trip as well as leave a good impression in the host country.

第２講　解答

＜解答＞

問Ａ　2, 5, 9, 11　　問Ｂ　(c) 1　　(d) 3　　(e) 4　　(h) 2

問Ｃ　(a) 4　　(b) 2　　(f) 1　　(g) 3

問Ｄ　全訳の下線部を参照。

＜全訳＞

ときに，創造的な問題はとても難しいので，人々は自分たちの想像力を一緒に結びつける必要がある。すなわち，私たちが集団で作業をする場合にのみ，解決策が浮かぶのである。これは，集団が単に個々の才能を集めたものではないからだ。そうではなく，それは，一人の個人が独力で作ることのできるものよりも偉大なものをそういった才能が作り出す機会となる。

今日では，集団の創造性がより必要になってきている証拠がある。ベン・ジョーンズという経営学の教授が，科学において成功したイノベーションを分析してこれを証明している。彼が観察した傾向は，協働的なチームワークへの急激な変化である。ジョーンズによると，99 以上の科学の分野がチームワークのレベルの向上を経験している。

以前は科学の分野で最も重要な発見が，アインシュタインやダーウィンのような個々の天才の産物であったけれども，現在では，最高の研究は科学者の集団から生まれる。その理由は簡単だ。私たちが現在解決を必要とする最大の問題は，多様な背景を持ち，その知識の領域の間のすき間に橋を架ける人々の才能を必要とする。私たちが自分の考えを他人と共有する方法を学ばない限り，私たちは一見すると不可能な問題を持つ世界で行き詰まるだろう。

しかし，どうやって私たちは一緒に作業すべきだろうか。集団的創造の理想的な戦略とは何であるか。ブライアン・ウッツィという社会学者は，ブロードウェイのミュージカルを作る創造性のあるチームを研究することで，この問いに答えようと何年も費やしてきた。「誰もミュージカルを一人では作れない。」と彼は言った。「その制作には，あまりに多くの様々なタイプの才能を必要とする。」ウッツィは，そのチームのメンバー同士の関係が，ミュージカルの成功や失敗にどう影響するかを理解したいと思っていた。彼は，一緒に創造的に働くソングライター，プロデューサー，シナリオライター，ダンスの振付師，監督といった集団を見ていた。以前一緒に働いたことがある

親しい友人から成る集団であるのと，初めて一緒に働く赤の他人から成るのとで，どちらが良いのか彼は疑問に思った。

　ウッツィが最初に発見したことは，ブロードウェイで働いていたほとんどの人が，相互に強いつながりがある社会ネットワークの一部だったということだ。新しい制作チームのメンバーは，お互いをとてもよく知っているか，以前に会ったことがあるか，お互いの以前の作品を見たことがあるかだった。ウッツィはまた, 最高のブロードウェイのショーが作られるのは，メンバーの間で様々なレベルの親密度が存在するときだとわかった。グループの全てのメンバーが親しい関係にある時，結果はあまり良くなかった。誰も他のメンバーをあまりよく知っていないと，その演劇はたいていあまり上手くいかなかった。最も成功したブロードウェイのミュージカルは，一緒に働いたことがある人もいれば，新参者もいるようなチームによって作られた。理想的な創造的状況では，人々はお互いにより打ち解けるが，はじめはあまり打ち解けすぎるべきではない。どういうわけか，個人的関係をこの様に混ぜ合わせたものが理想的であるようであった。

　どんな種類のチームが最も効果的であるかを理解するのは，とても重要だ。今日では，私たちはとても複雑で難しい問題を抱えた世界で生きている。人類が直面する重要な課題のほとんどが，個々の想像力を超えるものだ。結果として，私たちは，他の才能ある人と一緒に作業することでのみ創造的な解決策を見つけることができる。ジョーンズやウッツィのような研究者が見つけたのは，才能ある人が一緒になって，正しい方法で協力するとき，魔法のように見えることがあるということだ。しかし，それは魔法ではない。チームワークがうまくいった当然の結果なのだ。

第２講　重要語彙リスト　　＊一つ一つ何度も繰り返して，覚えてください

1	so ～ that …	とても～なので…
2	require O to do	O に～することを要求する
3	in other words	すなわち
4	solution	解決策
5	collection	集めたもの
6	individual	個々の
7	instead	その代わりに，それよりも
8	on one’s own	独力で
9	nowadays	今日では
10	evidence	証拠
11	professor	教授
12	management	経営
13	demonstrate	説明する，証明する
14	analyze	分析する
15	innovation	イノベーション
16	trend	傾向
17	sharp	急激な，鋭い
18	shift	変化
19	collaborative	協働的な
20	field	分野
21	used to do	以前は～した
22	genius	天才
23	emerge from	～から出現する
24	unless	～しない限り
25	share A with B	A を B と共有する
26	be stuck with	～で行き詰まる
27	seemingly	一見すると
28	strategy	戦略
29	spend O ～ ing	O を～するのに費やす
30	relationship	関係
31	failure	失敗
32	director	監督
33	wonder if	～かどうか疑問に思う
34	be composed of	～から成る
35	total stranger	赤の他人
36	extremely	極めて
37	previous	以前の
38	successful	成功した
39	comfortable	快適な
40	exceed	超える

第２講　音読用白文　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩

Sometimes a creative problem is so difficult that it requires people to connect their imaginations together. In other words, the solution arrives only if we work in groups. This is because a groups is not just a collection of individual talents. Instead it is a chance for those talents to produce something greater than a single individual could create on his own.

Nowadays, there's evidence that group creativity is becoming more necessary. Ben Jones, a professor of management, has demonstrated this by analyzing successful innovation in science. The trend he's observed is a sharp shift toward collaborative teamwork. According to Jones, more than 99 scientific fields have experienced increased levels of teamwork.

While the most important discoveries in a scientific field used to be the product of individual geniuses such as Einstein or Darwin, the best research now emerges from groups of scientists. The reason is simple: the biggest problems we now need to solve require the talents of people from different backgrounds who bridge the gap between their areas of knowledge. Unless we learn how to share our ideas with others, we will be stuck with a world of seemingly impossible problems.

But how should we work together? What's the ideal strategy for group creativity? Brian Uzzi, a sociologist, has spent many years trying to answer this question by studying the creative teams that make Broadway musicals. "Nobody creates a musical alone," he said. "The production requires too many different types of talents." Uzzi wanted to understand how the team members' relationships affected the success or failure of a musical. He looked at groups of songwriters, producers, screenplay writers, dance choreographers and directors who worked together creatively. He wondered if it is better to have a group composed of close friends who have worked together before, or total strangers working together for the first time.

The first thing Uzzi discovered is that most of the people who worked on Broadway were part of an extremely interconnected social network. Members on a new production team either knew one another very well, had met before or had seen one another's previous projects. Uzzi also found

that the best

Broadway shows were produced when there was a range of levels of closeness among members. When all the members in the group had close relationships, the results were not very good. If nobody knew anyone else very well, the play was usually not very successful. The most successful Broadway musicals were created by teams where some people had worked together before but others were newcomers. In the ideal creative situation, people will become more comfortable with one another, but they should not be too comfortable, at first. Somehow this mix of personal relationships seemed to be ideal.

Understanding what kinds of teams are most effective is very important. Today we live in a world of very complex and difficult problems. Most of the important challenges humans face exceed the capabilities of the individual imagination. As a result, we can find creative solutions only by working together with other talented people. What researchers like Jones and Uzzi have found is that when talented people come together and cooperate in the right way, it can seem like magic. But it’s not magic; it is the natural result of successful teamwork.

第３講　解答

＜解答＞

問１　②　　問２　①　　問３　③　　問４　③　　問５　①
問６　④　　問７　③　　問８　①

＜全訳＞

「私にとって喜ばしいことだ」というフレーズは，何か楽しいことや望んでいることを耳にする際の幸せを表現するのに，英語で使用されるものだ。例えば，ある学生が先生から試験に合格したと告げられ，「それは私にとって喜びだ。」と，言うかもしれない。有名なドイツの哲学者のフリードリッヒ･ニーチェが, かつてこう言った。「音楽がなかったら，人生は誤りであるだろう。」と。音楽が私たち全員にそれほど重要かどうかは議論の余地があるが，私たちは音楽が自分の考え方や感じ方に強い影響を与えていることを実際に知っている。

たとえば，ある研究によると，人々が聞く音楽が，感情を表していない表情の捉え方に影響を与えることがあると示していた。短い曲であっても，幸せな音色の音楽を聞いた人は，感情を表していない表情を幸せなものと認識したが，一方で暗く陰鬱な音色の音楽を聞いた人は，同じ表情を悲しいものと認識した。面白いことに，私たちがある音楽を幸せで，別の音楽を悲しいと認識するからといって，それを聞いて必ずしも，私たちは幸せになったり悲しくなったりするわけではない。これは，音楽が二つの異なる種類の感情に影響を与えるからだ。それは，認識された感情と実際の，すなわち経験された感情だ。だから，私たちは実際には感情を抱かなくても，一つの楽曲と関連する感情を理解できる。これが，一部の人が寂しいとか悲しいとか言われることの多い音楽を楽しむ一つの理由であるかもしれない。

もう一つの面白い研究は，周囲の，すなわち背景の適度な音が，何も音がないよりも実際には創造性にとって良いことがあると証明している。その理論によると，適度な背景の音が，情報を処理するのをわずかに難しくするということだ。こうして難易度が上がることで，抽象的な思考が促進され，次に結果としてより高い創造性が生まれる。もちろん，もし騒音レベルが高すぎると，人は集中できなくなり，創造性や生産性は急速に減少するので，結果は，マイナスとなる。

ある研究者のチームは，運転中の音楽はとても気を散らせる可能性があると主張する。その研究では，被験者は，研究者が選んだ音楽を聞くか，自分自身で選んだ音楽

を聞くか，全く音楽がないかのいずれかの状態で運転をした。驚くことに，運転手は自ら選んだ音楽を聴いているときに，最も気が散り，最も間違いをしていた。さらに驚きなのは，研究者が選んだ音楽を聞いているときが，運転手はより安全で，最も間違いが少なかった。この音楽は，なじみがないものと表現されていた。どうやら，この種のなじみがないバックグランドミュージックのおかげで，運転手は，運転から気をそらさないですんだのと同時に，自分の思考によって気をそらさずにすんだのであるから，そうした音楽は，全く音楽がない状態よりもいっそう良いものだったようだ。

　もう一つの音楽に関するかなりよくある理解は，楽器の演奏を身に付けるように訓練することで，運動技能，すなわち，筋肉運動の協調と，推論力の両方にプラスの効果があるということだ。幼少期に楽器の演奏を身に付けた人は，語彙力テストで高い点数を取り，高度な視覚分析や推論力を示す傾向にある。

　ほとんどの人にとって，音楽の重要性に関するニーチェの説明は，議論の余地があるだろうが，私たちの多くにとって，音楽が毎日の生活で重要な役割を果たしていることはほとんど疑いがない。音楽がどのように，私達の思考や感情に影響するかを理解することで，音楽の力を利用して，生活をよりよくできるかもしれない。

第３講　重要語彙リスト　　＊一つ一つ何度も繰り返して，覚えてください

1	pleasant	楽しい
2	desirable	望ましい
3	pass a test	試験に合格する
4	philosopher	哲学者
5	mistake	間違い，誤り
6	whether	～かどうか
7	perceive	認識する
8	neutral	中立の，感情を表さない
9	facial expression	表情
10	tone	音色
11	identify A as B	A を B と同一視する
12	depress	落胆させる
13	not necessarily	必ずしも～とは限らない
14	affect	影響を与える
15	be associated with	～と関連がある
16	describe A as B	A を B と言う，描写する
17	demonstrate	示す，証明する
18	moderate	適度な
19	creativity	創造性
20	noise	雑音，物音
21	slightly	わずかに
22	process	処理する
23	promote	促進する
24	abstract	抽象的な
25	in turn	次に，結果として
26	result in	～に終わる
27	individual	個人
28	concentrate	集中する
29	decline	衰退する，減少する
30	distract	（気を）そらす
31	participant	参加者
32	select	選ぶ
33	unfamiliar	なじみがない
34	apparently	どうやら～らしい
35	prevent O from ～ ing	O が～するのを妨げる
36	fairly	かなり
37	instrument	道具，楽器
38	coordination	調和，（筋肉運動の）協調
39	reasoning	推論
40	analysis	分析

第３講　音読用白文　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩

The phrase "music to my ears" is one that is used in English to express happiness about hearing something pleasant or desirable. For example, a student might say, "That is music to my ears." when told by a teacher that he had passed a test. The famous German philosopher, Friedrich Nietzsche, once said, "Without music, life would be a mistake." Whether music is that important to us all is debatable, but we do know that music has a strong impact on the way we think and feel.

One study, for example, showed that the music people listen to can have an impact on how they perceive a neutral facial expression. People who listened to even a short piece of music that had a happy tone identified a neutral facial expression as happy, while those who listened to music that had a dark or depressing tone identified the same expression as sad. The interesting thing is that just because we recognize some music as being happy and other as sad, listening to it doesn't necessarily make us feel happy or sad. This is because music affects two different types of emotions: perceived emotions and felt, or experienced, emotions. So, we can understand the emotion associated with a piece of music without actually feeling the emotion. This may be one reason why some people enjoy music that is often described as lonely or sad.

Another interesting study has demonstrated that a moderate level of ambient, or background, noise can actually be better for creativity than no noise. The theory is that moderate levels of background noise make it slightly more difficult to process information. This increased difficulty promotes abstract thought, which in turn results in higher levels of creativity. Of course, if the noise levels are too high the result is negative as the individual is unable to concentrate and creativity and productivity decline rapidly.

One group of researchers claim that music can be very distracting while driving. In their study, participants drove while listening to music selected by the researchers, their own music, or with no music at all. Surprisingly, the drivers were the most distracted and made the most mistakes when they listened to their own music. Even more surprisingly, the drivers were safer

and made the fewest mistakes when they listened to music selected by the researchers. This music was described as being unfamiliar. Apparently, this type of unfamiliar background music was even better than no music at all because it prevented the drivers from being distracted by their own thoughts while, at the same time, not distracting them from their driving.

Another fairly common understanding about music is that training to learn how to play a musical instrument can have a positive effect on both motor skills, or coordination, and reasoning skills. Individuals who learned how to play an instrument at an early age tend to score higher on vocabulary tests and demonstrate advanced visual analysis and reasoning skills.

Most people would likely debate with Nietzsche’s statement about the importance of music but there is little doubt that music plays a major role in everyday life for many of us. Understanding how music affects our thoughts and feelings might help us to use its power to improve our lives.

復習テスト　解答

＜第一回＞

1. ③	2. ④	3. ②	4. ④	5. ①
6. ③	7. ④	8. ③	9. ①	10. ④

復習テスト　解答

＜第二回＞

1. ③	2. ④	3. ①	4. ②	5. ④
6. ③	7. ①	8. ④	9. ③	10. ①

復習テスト　解答

＜第三回＞

1. ②	2. ④	3. ①	4. ④	5. ④
6. ②	7. ①	8. ④	9. ②	10. ①

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。